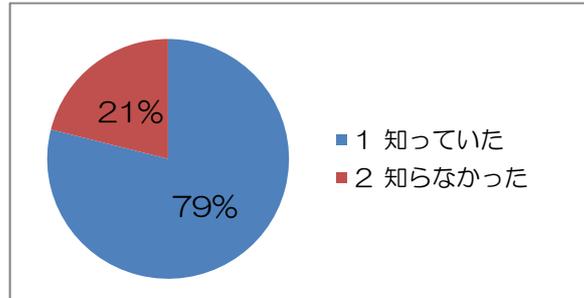


## 上下水道インターネットモニターH29第3回アンケート結果

(平成30年1月5日～平成30年1月17日)

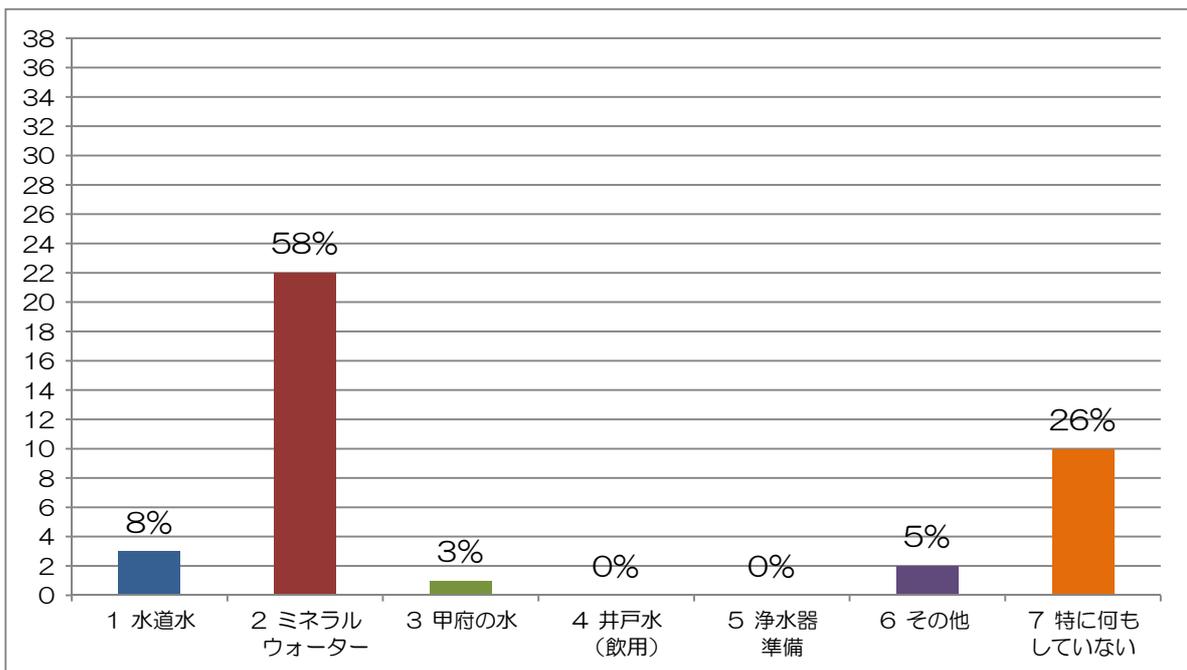
設問1. 災害発生時とその備え等についてお伺いします。災害等により断水した場合、最低必要飲料水（飲み水）は一人あたり3リットルとなり、少なくとも3日分（9リットル）の備蓄が推奨されていますが、知っていましたか？

- 1 知っていた 30
- 2 知らなかった 8



設問2. 最低必要飲料水（3日分／9リットル）の確保のために対策を行っていますか？

- 1 水道水を容器に入れて備蓄している 3
- 2 ミネラルウォーター（市販、ウォーターサーバーボトル等）を備蓄している 22
- 3 ボトルドウォーター「甲府の水」を備蓄している 1
- 4 井戸水（飲用）を利用している 0
- 5 携帯型、簡易式浄水器を準備している 0
- 6 その他 2
- 7 特に何もしていない 10

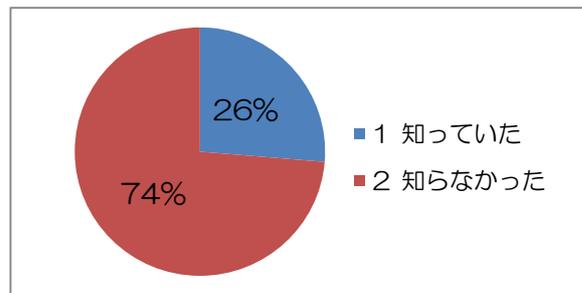


設問3. 設問2で「6 その他」と回答された方は、具体的にお答えください。

- 2リットルのお茶を1ケース常備している
- 災害用の長期保存できる水を用意している

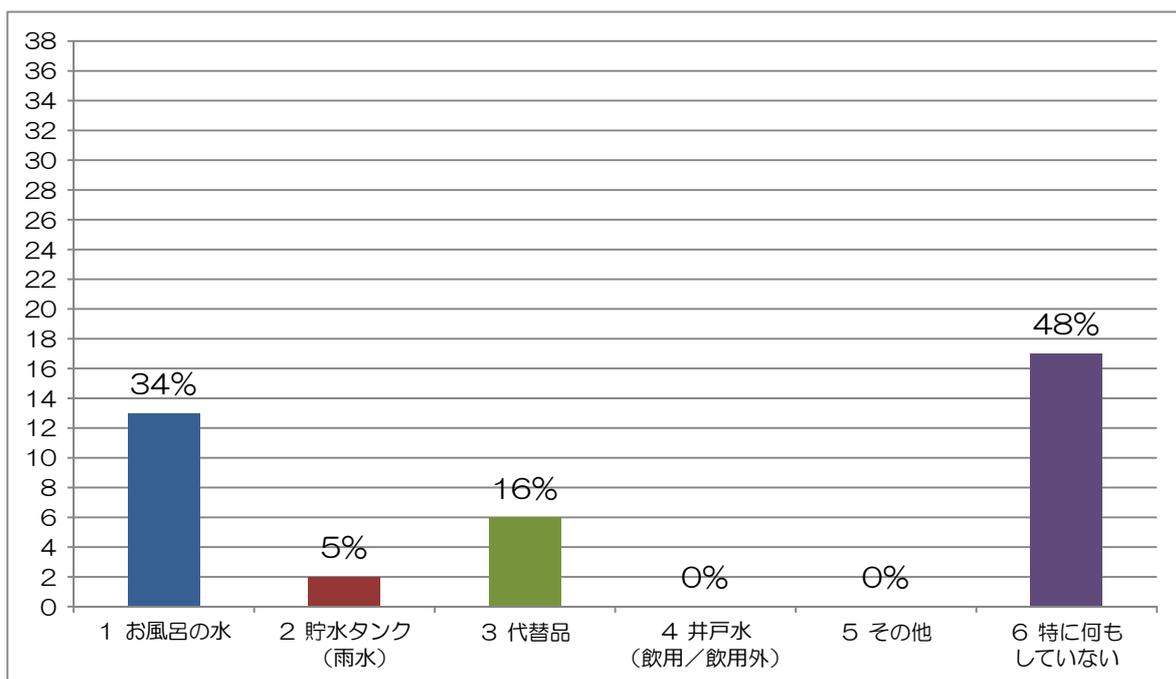
設問4. 同じく災害等により断水した場合、最低必要生活用水（生活に必要な水）は一人あたり3日分で15～20リットルとされていますが、知っていましたか？

- 1 知っていた 10
- 2 知らなかった 28



設問5. 最低必要生活用水（3日分／15～20リットル）の確保のために対策を行っていますか？

- 1 お風呂の水はすぐに流さず、溜めておく 13
- 2 貯水タンクに雨水を溜めておく 2
- 3 代替品（携帯用トイレ、ウェットティッシュ等）を備蓄している 6
- 4 井戸水（飲用／飲用外）を利用している 0
- 5 その他 0
- 6 特に何もしていない 17

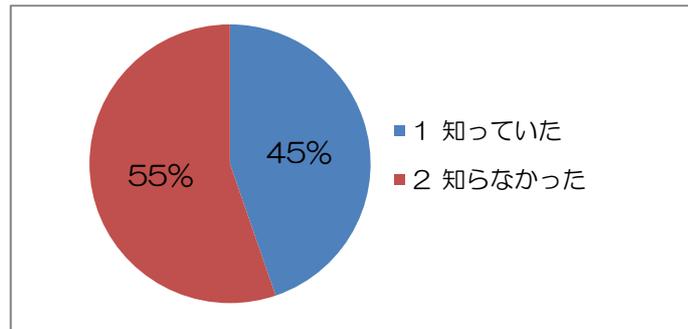


設問6. 設問5で「5 その他」と回答された方は、具体的にお答えください。

※回答なし

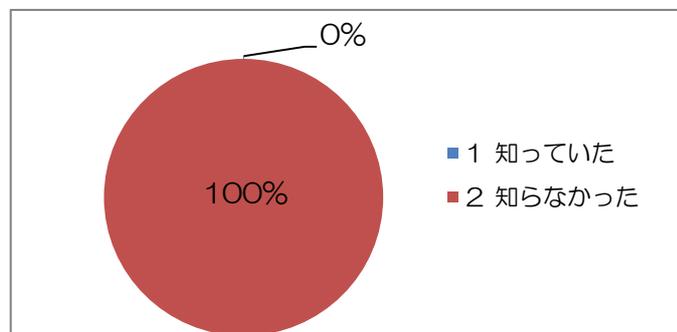
設問7. 災害時の飲料水確保の「緊急用浄水器」が各小中学校に配備されていますが、ご存知でしたか？（プールの水などを浄化して飲料水を確保）

- 1 知っていた 17
- 2 知らなかった 21



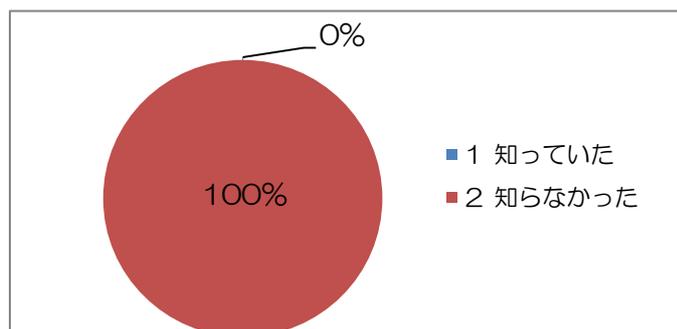
設問8. 甲府市上下水道局では、災害に備えて日本水道協会に所属する事業者と「災害時相互応援に関する協定」を締結していますが、ご存知でしたか？

- 1 知っていた 0
- 2 知らなかった 37



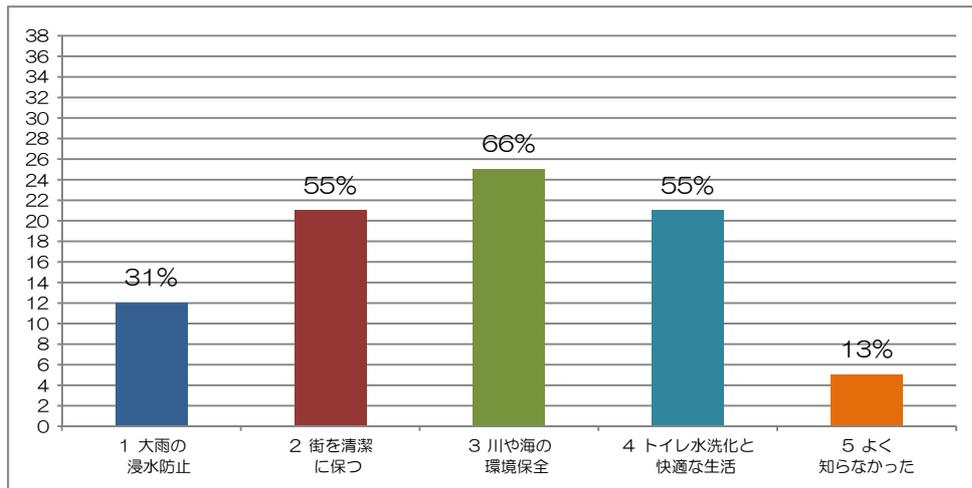
設問9. 神奈川県小田原市と「災害復旧相互応援に関する協定」を締結し、水道施設に災害が発生した場合の相互応援体制をとっていますが、ご存知でしたか？

- 1 知っていた 0
- 2 知らなかった 38



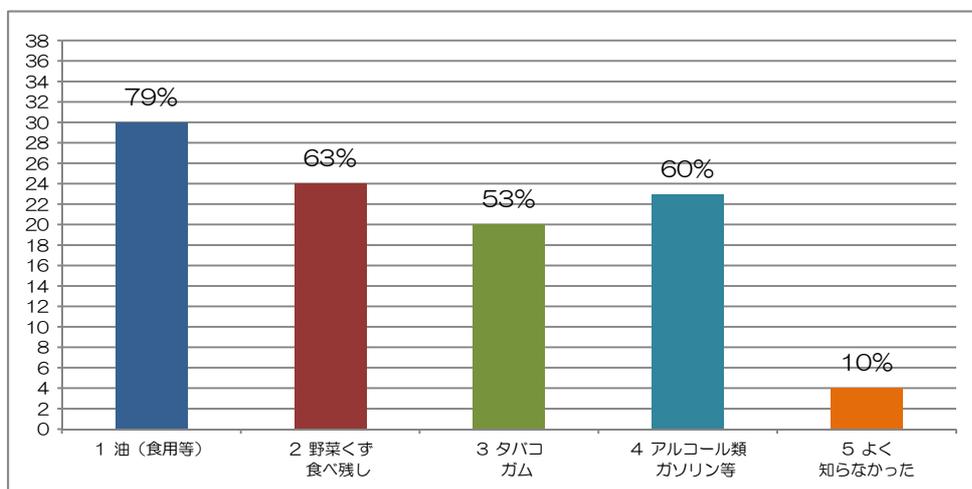
設問10. 下水道についてお伺いします。（下水道のご使用の無い方は以降の設問について回答は結構です。）下水道には次のような重要な役割があります。知っているものをお選びください。（複数選択可）

- 1 大雨による浸水から街を守る 12
- 2 汚水を留めず、街を清潔に保つ 21
- 3 汚水を浄化して放流することで、川や海の環境を守る 25
- 4 トイレの水洗化と雑排水を適切に処理し、快適な生活を守る 21
- 5 よく知らなかった 5



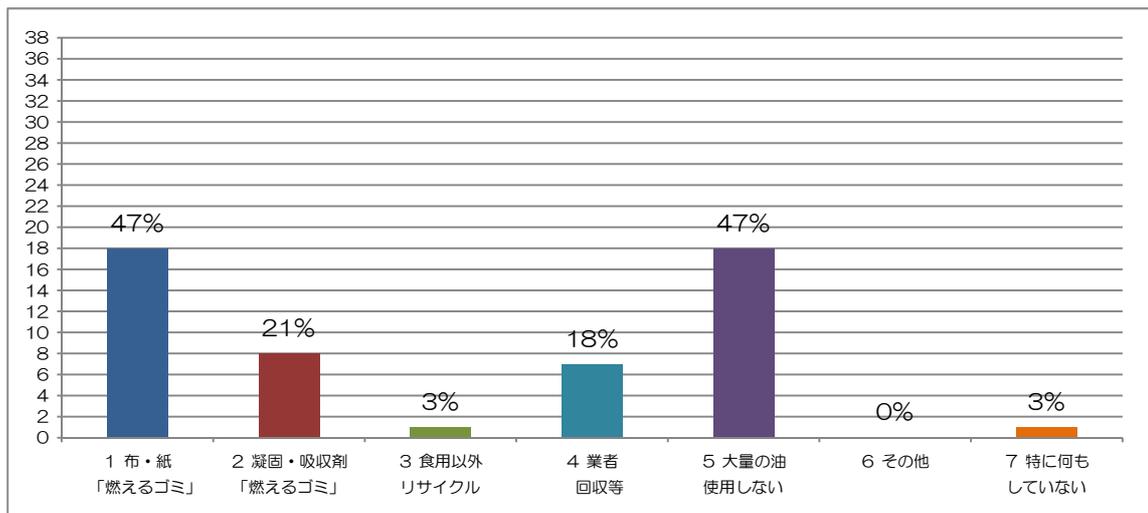
設問11. 下水道には、詰まりの誘発やご家庭の排水管を損傷するおそれがあるため、流してはいけないものがあります。次の中から知っているものをお選びください。（複数選択可）

- 1 油（食用等） 30
- 2 野菜くず、食べ残し 24
- 3 タバコ、ガム 20
- 4 アルコール類、ガソリン等（揮発性の高い危険物） 23
- 5 よく知らなかった 4



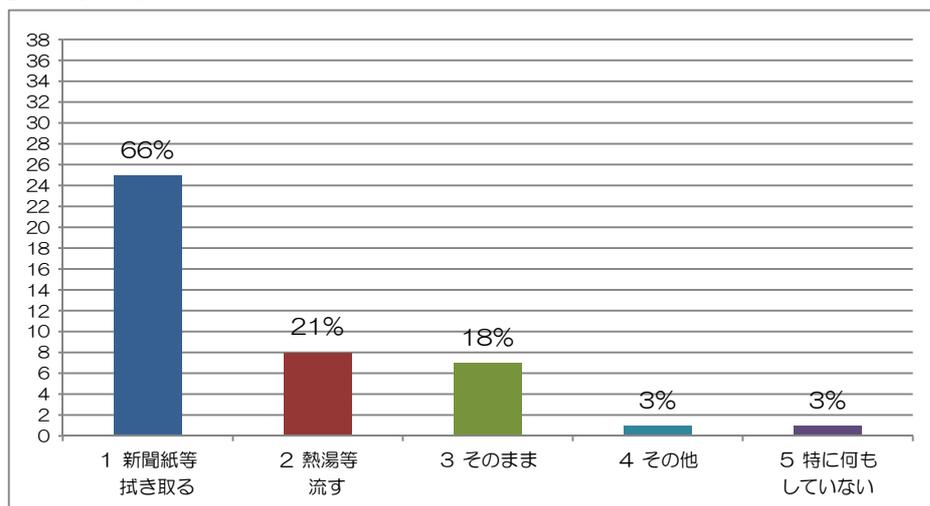
設問12. 特に「油（食用等）」は下水道管やご家庭の排水管の詰まりの大きな原因となりますが、揚げ物などで使用した食用油をどのように処理していますか？次からお選びください。（複数選択可）

- 1 紙、布などに染み込ませ「燃えるゴミ」として処理 18
- 2 凝固剤、吸収剤などを使用し「燃えるゴミ」として処理 8
- 3 手作り石鹸など食用以外にリサイクルしている 1
- 4 業者や指定された回収場所に出して処理 7
- 5 大量の油を使用しない調理をしている 18
- 6 その他 0
- 7 特に何もしていない 1



設問13. 油で汚れた鍋、フライパン、食器などをどのように処理していますか？次からお選びください。（複数選択可）

- 1 新聞紙、キッチンペーパーで拭き取ってから洗剤で洗う 25
- 2 熱湯などをかけ、油を流してから洗剤で洗う 8
- 3 そのまま洗剤で洗う 7
- 4 その他 1
- 5 特に何もしていない 1

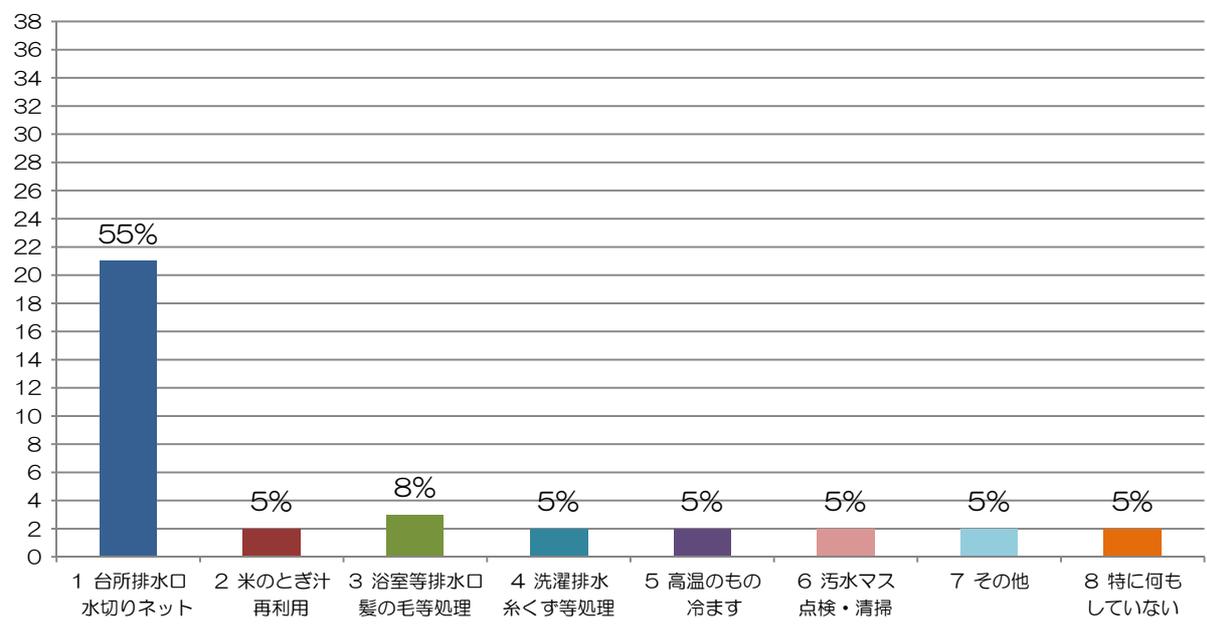


設問14. 設問1 2、1 3で「その他」と回答された方は、具体的にお答えください。

- ・油でベタベタになる程油を使う調理をしていない

設問15. 「油（食用等）」の処理以外に、下水道の使用にあたり普段から注意していることをお答えください。（環境の保全、排水設備の維持等）

- 1 台所の流しの排水口には水切りネットを設置し、野菜くずや食べ残しなどを流さないようにしている 21
- 2 米のとぎ汁を流さず、植物に与えたり、掃除などに再利用している 2
- 3 浴室、洗面所の排水口に付着した髪の毛などは、流さず「燃えるゴミ」として処理している 3
- 4 洗濯排水の糸くずなどは、流さず「燃えるゴミ」として処理している 2
- 5 熱湯や高温のものは、冷ましてから流している 2
- 6 定期的に汚水マスの点検、清掃を行っている 2
- 7 その他 2
- 8 特に何もしていない 2

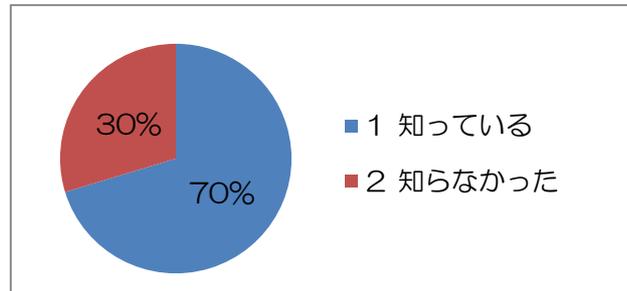


設問16. 設問1 5で「7 その他」と回答された方は、具体的にお答えください。

- ・1と3と4と5です
- ・上記の設問に複数回答ができなかったので、ここに書きます。していることは1, 2, 3, 4です。

設問17. ご家庭の排水管やトイレが詰まってしまった場合、お客様（排水設備の所有者）が直接、業者等への修理、対応の依頼を行わなければなりません、ご存知でしたか？※甲府市上下水道局の管理範囲は公設マスまでとなります

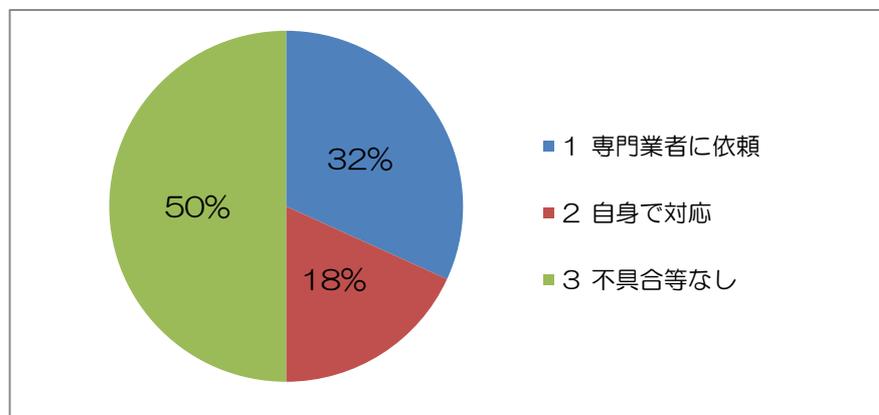
- 1 知っている 26
- 2 知らなかった 11



設問18. 実際に排水管が詰まったり、排水設備に不具合が発生したことがありますか？また、どのように対応されましたか？具体的にご回答ください。

※多くのご回答をいただきました（22件）。大きく分けての集計結果は次のとおりです

- 1 不具合が発生し、専門の業者に対応を依頼した 7
- 2 不具合が発生したが、自身で対応した 4
- 3 不具合等の発生はない 11



### <考察・分析>

設問1～9については「災害発生時の備え」等に関する設問です。災害等の発生により断水した場合における、「最低必要飲料水（1日3リットル／一人）」の備蓄については79%が認知しており、74%が実際に備蓄を行っていました。「最低必要生活用水（3日15～20リットル／一人）」の認知は26%でしたが、対策については55%が実施している結果となりました。各小中学校に配備されている「緊急用浄水器」については45%に認知されていますが、日本水道協会並びに神奈川県小田原市との災害発生時の「相互応援に関する協定」については、あまり認知されていない状況が伺えます。

設問10～18は下水道の使用についての設問です。「下水道の役割」については、概ね理解されていますが、13%が「よく知らなかった」と回答しています。また、「下水道に流してはいけないもの」に関しては油（食用等）79%、野菜くず・食べ残し63%、タバコ・ガム53%、アルコール類・ガソリン等60%、と認知されていますが、10%が「よく知らなかった」と回答しています。「油（食用等）」の処理については「特に何もしていない」は3%と、そのまま下水道へ流さない対応が浸透していますが、「油汚れ」を洗う際の対応としては、42%が下水道へ排出している結果となっています。「油（食用等）の処理以外」では、55%が「水切りネット」を設置しており、複数の対策に取り組まれている方も見られました。ご家庭における「排水管やトイレの詰まり」については、70%が自身での対応となることを認知されており、修理や状況についてたくさんのご回答が寄せられました。

災害発生時の備えとして、飲料水の備蓄と生活水の確保について今後も継続的に注意喚起していくと共に、水道施設における応援活動を主とした「相互応援に関する協定」に関し、広く周知を行っていきます。また、下水道の役割、使用についても、更なる認知度の向上に努めます。